

携帯型受信機**WT-1100**

このたびは、TOA 携帯型受信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、未長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

回転する機械の近くでストラップを使用しない
巻き込まれてけがなど、事故の原因となります。

**禁 止**

内部を開けない、改造しない
機器が故障したり、金属物が入ると火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

**分解禁止**

充電するときは、専用の充電電池と専用の充電器を使用する
指定以外の充電器を使用すると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲汚損の原因となります。

**強 制****注意**

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

イヤホンを差し込むときには、電源を切る
電源スイッチと音量ボリュームが兼用になっています。電源が入っていると突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

**強 制**

電池の液もれに注意する
長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
電池から液がもれて、けが・周囲汚損の原因となることがあります。

**強 制**

電池の取り扱いに注意する
次のことを必ずお守りください。
電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱・火の中に入れるなどしないでください。
- 金属物といっしょに携帯、保管しないでください。
- 充電式電池以外は充電しないでください。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 指定した電池をご使用ください。
- (＋) と (－) に注意し、表示どおり正しく入れてください。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

**強 制**

ニッケル水素電池をご使用のお客様へ



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

本機はニッケル水素電池が使用できます。

ニッケル水素電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

ニッケル水素電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出してリサイクルへご協力ください。

使用済みのニッケル水素電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。

概 要

本機は、特定小電力無線局のC型ワイヤレスマイク用に割り当てられた、322 MHz 帯の電波を使用した携帯型受信機です。イヤホンは付属していません。別売のイヤホン YP-E305 または YP-E401（耳掛け型）が必要です。（プラグの直径 3.5 mm、インピーダンス 16 Ω 以上の市販品も使用できます。）また、電源は単 3 形アルカリ乾電池か充電式の電池の 2 種類が使用できます。充電式の電池を使用される場合は、専用の充電電池と専用の充電器*^{1, 2} を使用してください。

*¹ 充電式として使用するときは、次の専用充電器と専用充電電池が必要です。

- 専用充電器 : BC-1100A-4 または BC-1100A-12
- 専用充電電池 : WB-2000 または WB-1000A

*² 充電器には、次の本数の専用充電電池（WB-2000）が付属しています。

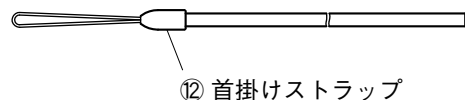
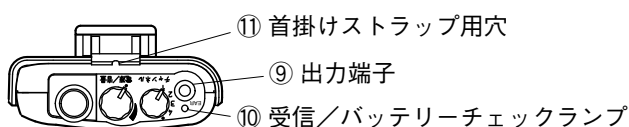
- BC-1100A-4 : 4 本
- BC-1100A-12 : 12 本

使用上のご注意

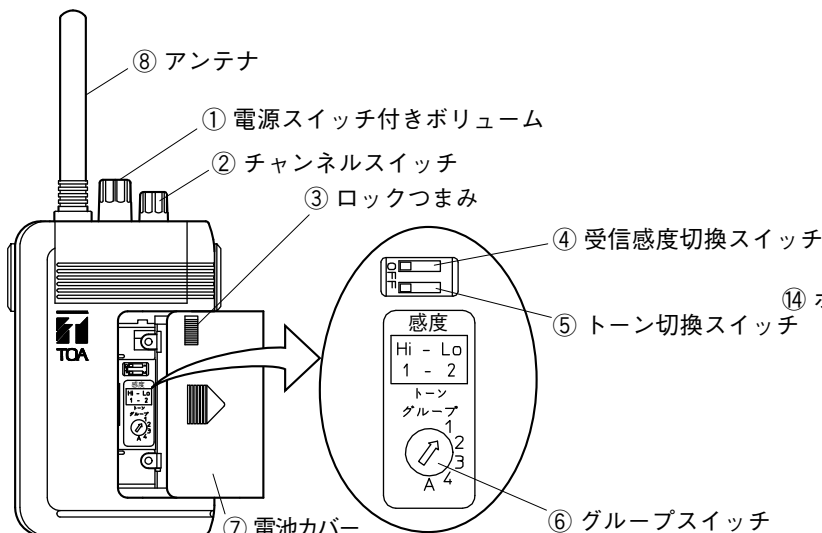
- 本機の分解、改造およびアンテナの付け換えは、しないでください。
- 本機に水が入ったりしないように、また、ぬらさないようにご注意ください。水滴がかかったときは、すぐに電源を切り、乾いた布で十分に拭き取ってください。
- 使用できる電池は、単 3 形アルカリ乾電池または専用の充電電池です。他の電池を使用すると正しく動作しないことがあります。
- 専用の充電電池で使っているときは、受信／バッテリーチェックランプが赤色に変化した後、数分で電池が切れて使用できなくなります。電池使用時間に注意し、予備の電池の準備をお願いします。
- 使用しないときは、必ず電源を切ってください。電池性能が低下することがあります。
- 半月以上使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池を入れたまま長い間放置すると故障の原因となります。
- 自動車のダッシュボードの上など、温度の高い場所や湿度の高い場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 床に落としたり、かたいものに当てないでください。故障の原因となります。
- アンテナを握って本機を持ち歩かないでください。故障の原因となります。
- 振動やほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。

各部の名称

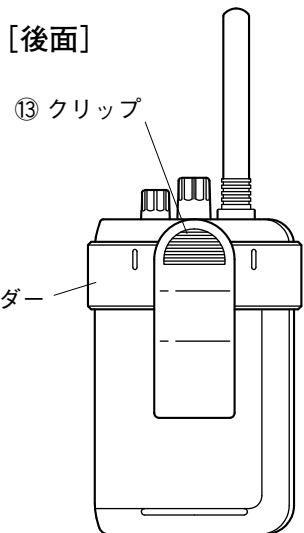
[上面]



[前面]

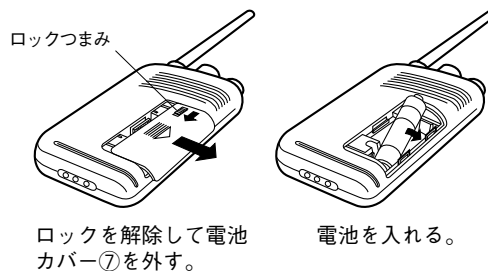


[後面]



操作のしかた

1. 電池カバー⑦を外し、電池を図のように入れます。(電源スイッチ付きボリューム①は切「・」にしておきます。)
2. 受信感度切換スイッチ④を「Hi」(左位置)にします。(通常は「Hi」)
3. トーン切換スイッチ⑤を「1」(左位置)にします。(通常は「1」)
4. グループスイッチ⑥とチャンネルスイッチ②をそれぞれ送信機と同じ設定に合わせます。
※ グループにより使用できるチャンネル数が異なります。周波数表で確認のうえ、設定してください。
※ グループスイッチ⑥の設定には付属のドライバーを使用してください。
5. 電池カバー⑦を元どおりに装着し、外れないようロックします。
6. 出力端子⑨にイヤホン(別売)を接続します。
7. イヤホンを耳に装着します。
8. 電源スイッチ付きボリューム①を時計方向に回して電源を入れ、適切な音量に調節します。電源が入ると、受信/バッテリーチェックランプ⑩が点灯または点滅します。
9. 使用後は、電源を切ってください。



● 受信/バッテリーチェックランプ⑩の状態

ランプ	本機の状態
ゆっくりした点滅	待受時(電波のないとき)
点灯	電波を受信中
速い点滅	トーンが一致していない電波を受信中
3回点滅の繰り返し	グループスイッチまたはチャンネルスイッチの設定誤り
緑色から赤色に変化	電池が消耗

ご注意

専用の充電電池で使っているときは、受信/バッテリーチェックランプが赤色に変化した後、数分で電池が切れて使用できなくなります。

上手にお使いいただくために

- 同一場所で同時に使用できるチャンネル数は、グループ1～3では4チャンネル、グループ4では1チャンネル、グループAでは5チャンネルです。同時使用するときは、同一グループの中でチャンネル設定をしてください。複数チャンネルを同時に使用すると、1チャンネルの場合に比べて通達距離が短くなることがあります。
- 近くで本機と同じC型ワイヤレスマイクを使用していると、チャンネルによって妨害を受けることがあります。そのときは、チャンネルを変更してください。
- 本機にはトーンスケルチ機能があり、送信機と受信機の両方が同じトーンに設定されたときのみ、受信機から音声が出るようになっています。トーンを2チャンネル実装していますので、使用する送信機と受信機のトーンを同じ設定にしてください。
- トーンなしの電波や異なるトーンの電波を受信すると受信/バッテリーチェックランプ⑩が速い点滅になり、妨害波の有無が確認できます。
- 妨害電波で使用しにくいときは、受信感度切換スイッチ④を「Lo」にして感度を下げると改善できることがあります。ただし、通達距離は短くなります。
- 本機にはスキャン機能があります。グループ1～3でチャンネルを「・」にするとスキャンモードになります。スキャンモードでは、受信中の電波が弱くなり、受信しなくなると同時に、自動的に新たな受信可能な電波を探して受信します。1種類のソース(音源)を複数カ所から、異なるチャンネルで送信しているときなどに使用します。受信できるチャンネルを探しているときは、受信/バッテリーチェックランプ⑩はゆっくり点滅します。

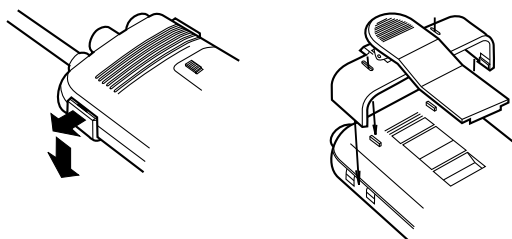
メモ

- ・スキャンモードでは1種類のソースで使用してください。電波を受信している間は他の送信機に近づいても切り換わらないので、送信機ごとのエリアを想定して異なるソースを送信しても、うまくいかないことがあります。
- ・グループ4、グループAにはスキャン機能はありません。

ホルダー、首掛けストラップの取り外し、取り付けかた

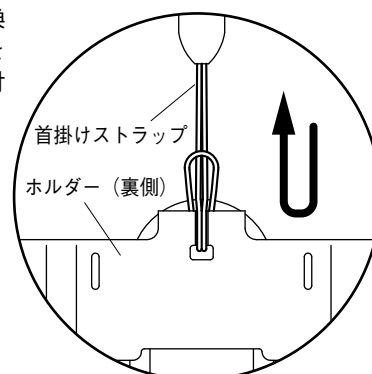
● ホルダーの取り外し、取り付けかた

ホルダーのつまめを起こして取り外してください。取り付ける場合はカチッと音がするまではめ込んでください。



● 首掛けストラップの取り付けかた

首掛けストラップを交換するときは、ホルダーを外し、図のように取り付けてください。



仕 様

電 源	DC1.2 V (専用充電電池)、DC1.5 V (乾電池)
無 線 局 の 種 類	特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備
電 波 型 式	F3E
受 信 周 波 数	322.025 ~ 322.150 MHz、322.250 ~ 322.400 MHz 25 kHz 間隔、13 チャンネル
受 信 方 式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受 信 感 度	SN 比 25 dB 以上 (7 dB μ VEMF 入力、偏移 $\pm$ 2.25 kHz) 受信 (スケルチ) 感度切り換え Hi : 5 dB μ VEMF、Lo : 15 dB μ VEMF
ト ー ン 周 波 数	14.80 kHz、14.75 kHz (2 チャンネルのうち 1 チャンネル)
総 合 周 波 数 特 性	200 Hz ~ 5 kHz (携帯型送信機 $\rightarrow$ 携帯型受信機) 150 Hz ~ 6 kHz (卓上型送信機 $\rightarrow$ 携帯型受信機)
ディエンファシス	50 μ s
出 力 レ ベ ル	4 mW (16 Ω 負荷、10%歪率時)
機 能	チャンネルスキャン機能
使 用 電 池	専用充電電池 WB-2000、WB-1000A または単 3 形アルカリ乾電池 (1 本)
電 池 持 続 時 間	約 18 時間 (WB-2000 使用時) 約 10 時間 (WB-1000A 使用時) 約 20 時間 (単 3 形アルカリ乾電池使用時)
使 用 温 度 範 囲	-10 ~ +40 $^{\circ}$ C
仕 上 げ	本体 : ABS 樹脂、ダークシルバー
寸 法	62 (幅) $\times$ 163.6 (高さ) $\times$ 32.5 (奥行) mm (突起部含む)
質 量	120 g (電池含む)
付 属 品	単 3 形乾電池 (R6PU、テスト用) 1 首掛けストラップ 1 設定用ドライバー 1

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

周波数表

グループ	1	2	3	4	A
周波数 (MHz)					
322.025			C31		CA1
322.050	C11				
322.075		C21			CA2
322.100	C12				
322.125		C22			
322.150			C32		CA3
322.250	C13				
322.275		C23			
322.300				C41	CA4
322.325			C33		
322.350	C14				
322.375		C24			
322.400			C34		CA

※ 真ん中の数字がグループを、末尾の数字がチャンネルを表します。

トーン周波数表

1	14.80 kHz
2	14.75 kHz

故障かな？と思ったら

症状	点検	処置
電源が入らない。	電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。充電式の電池の場合は充電し直してください。
	電池の極性が間違っていないですか？	電池を入れ直してください。
送信機と受信機が近くても受信できない。受信／バッテリーチェックランプはゆっくりした点滅。	グループスイッチ、チャンネルスイッチが送信機と同じになっていますか？	グループスイッチ、チャンネルスイッチを送信機と同じにしてください。
送信機と受信機が近くても受信できない。受信／バッテリーチェックランプは 3 回点滅の繰り返し。	グループスイッチ、チャンネルスイッチが割り当て外のところに設定されていませんか？下記以外の設定はできません。 グループ 1 ~ 3 のとき：チャンネル 1 ~ 4 グループ 4 のとき：チャンネル 1 グループ A のとき：チャンネル 1 ~ 4、 なお、グループ 1 ~ 3 のとき、チャンネル・を選択するとスキャンモードになります。	グループスイッチ、チャンネルスイッチを正しく設定してください。
送信機と受信機が近くても受信できない。受信／バッテリーチェックランプは速い点滅。	トーンが送信機と同じになっていますか？	トーン切換スイッチで送信機と同じトーンにしてください。
送信機と受信機が近くても受信できない。受信／バッテリーチェックランプは点灯。	イヤホンプラグが奥まで挿入されていますか？	イヤホンプラグを奥まで挿入してください。
送信機から少し離れると、通話できない。	受信感度切換スイッチが「Lo」になっていませんか？	受信感度切換スイッチを「Hi」に設定してください。

TOA お客様相談センター

商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)

フリーダイヤル 0120-108-117

ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)
FAX 0570-017-108 (有料)
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。
最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>